

## 奈良県中央卸売市場運営協議会の概要

- 開催日時 令和元年8月19日(月) 午前10時～午前11時12分
- 場 所 奈良県中央卸売市場管理棟3階大会議室
- 出席委員 15名(順不同)  
浦出会長、森山委員、川口委員、藤野委員、上田委員、石田委員、川井委員、吉岡委員、山口委員、西川委員、吉田委員、川西委員、高谷委員、中島委員、森田委員
- 欠席委員 3名(順不同)  
田中委員、川端委員、熊田委員
- 主な議題 奈良県中央卸売市場再整備基本計画案について
- 議題に関する出席委員からの意見の概要
  - 中央卸売市場は非常に立地がよいので、物流の拠点として、産地市場から選ばれる市場となることを目指してほしい。交通アクセスは大事なので、高速道路からの引き込みについて検討してほしい。
  - B t o Bの活性化が重要であるが、将来的に必要なことはどのように物流を確立するかということ。奈良県中央卸売市場は立地面でも高速道路インターチェンジがすぐそばにあることから、機能的に、それらの活用を含め物流の強化が肝要と考える。
  - 周辺道路の混雑が一層増えないか心配。
  - 佐保川が氾濫した場合の浸水が想定される地域に入っているので、再整備するにあたって、浸水被害がでないよう検討を進めるべき。
  - 時機を見て、地域の住民も含めた幅広い意見を集めることができるようなワーキングチームの設置を提案したい。
  - B t o C施設において、魅力ある県産の食材が供給されたり、研修で利用されたり、体験できるような方法について検討を進めてほしい。再整備により、魅力ある市場として、全国から注目されるような市場になるよう考えてほしい。
  - B t o Cは単なる観光拠点ではなく、B t o Bとの関係が重要。例えば宿泊施設をホテルと表現しているが、研修施設であってもいいし、いろいろな人が利用できるコンセプトを盛り込んだ方がよい。
  - 新たに整備する市場では、廃棄物の排出抑制や循環型利用に加え、廃プラスチックの問題や食品ロスの問題に対しての具体的取組を期待したい。
  - 再整備をスピード感をもって進めてほしい。
  - 一層の人員確保をしながらプロジェクトを進めていかなければならないと考える。